

12
月号

いっしん

平成29年(2017年)

第395号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajiki.kon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

我あるを
神の恵と
知れる身は
礼びと詫びの
外に言なし
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御致



東郷教会記念大祭後、近くの世界遺産に指定された宗像神社にて

この秋は
隣接・関係教会の
記念大祭が続きました

十一月十二日(日)東郷教会布教
九十年記念大祭に参拝のおかげを蒙
らせていただきました。

ワゴン車の運転の御用に当たらせ
ていただきました。

甘木親教会より少し長距離で、往
きは一人で運転させていただきました
が、同乗している方たちが、励ま
して下さり、眠くならないように声
かけをして下さり、さらに、おにぎ
りやお茶菓子なども準備して下さっ
ており、元気に事故・ケガ・過ちな
く運転の御用をさせていただきました
ことができありがたいことでした。

東郷教会では、受付が教師と信徒
に分かれ、担当者が何人もおられ、
適切な対応をすることが感
じられました。また、奉迎委員長の挨拶
が上手にされ、印象に残りました。

お話し聴かせていただき、実行の
できる信心になっていくことが大切
だと感じさせていただきました。

(上田和也)

《北九州教区教区だよりより》
神計らいは奇しくも
人の思いを及ぼせる

鬼塚正一師（新田原教会）

私は昭和五十八年に学院へ入学し、卒業後は甘木親教会にて修行をさせて頂きました。



いや、修行されたのは、親先生の方かもしれません。

平成元年十一月十八日、出立の時には、親先生から「帰るんじゃないぞ、布教に出させて頂くんじゃからな」とのお言葉を頂き、家内と二人の子ども（一人はお腹の中）を連れて、新田原へと布教に出させて頂きました。

家内は信者さんのことも、土地のこともあまり知らない中で布教に出させて頂く覚悟があったとは思いますが、私はというと、帰るといふ気が強かったように思います。しかし、御用は次々にありました。

教会のことはもとより、親教会、連合会、教区少年少女会、青年教師会等の御用に使うべく、平成十二年、新田原教会布教三十五年のお年柄の一月二日に、五人兄妹の一番下の三男道人（一歳八九月）を事故で亡くし、布教三十五年祭の時には、元気に御用をさせて頂いた一番下の妹まさえ（二十六歳）が、その半年後の七月一日に病気で亡くなりました。

二人とも突然であり、この事実をどう受け止めればよいのか、ただ悲しいだけではいけないわけで、信心でどう受けていけばよいのか、日々過ごしていく中、父が、朝ご祈念後や月例祭の教話などで「これもおかげ、これもおかげ」と自分に言い聞かせるように話しており、私にとっただけ、おかげとは受けがたいものでしたが、父がその当時のことを、まさえの一年祭の偲び草に書いておりましたので紹介いたします。

《まさえの帰幽があまりにも急で、考えもしなかっただけに、この事実をどのように受け止め、頂いてゆけば道に適い神様の申し召しに添い奉

ることができるのか、まさえの御霊が悲しまないようにこの事実が無駄にならないようにと、悲しみに耐えながら、求め続け祈り続けてまいりました。そうした祈りの中で、教会宛に一通の手紙が届きました。それは娘を亡くした心情を思うあまり、慰めの言葉に添えて、まさえを偲んでの歌と教会宛の歌を詠んで送って下さった金光英子先生からでありました。（六首のうちの二首を紹介いたします）

この悲しみは 新田原の教会に
徳賜れる 神の愛なり

歴代の 先覚受けし 大いなる
徳の数々 悲しみがもと

この二首の歌を通して、身近な歴代先覚諸師のご家族を見渡してみますと、ほとんどのおかげを受けられし諸師のご家庭に、この悲しみを受けられ、耐え忍ばれながら、おかげを受けられてある事実を解らされ、同時に新たな心の眼を開かせて頂くことができました。更に有難きこと

に、甘木教会初代親先生安武松太郎師の御教話を、呼子教会の山根友次郎先生から聞かせて頂いていたのを記録していたので、その御教話を改めて読ませて頂きました。御教話の一部「氏子に最善のお計らいをなして下された、ぎりぎりの結果が現在のおかげじゃからな。たとえ胸の張り裂けるような悲しみや身の崩れるばかりの苦しみに出逢っても、神様は決して氏子のためにならぬことは何ひとつなさらん。今自分に与えられていることが、最高・最善・最大のおかげと頂けば、今後はおかげになる」この御教えによって、悲しみの受け取り方にはつきりと道がつき、悲しみに耐えつつ求めた心に、神様が適切な道の解答を与えて下さり、一見、人間的、世間的な心情で受け取れば不幸に見える難儀が、実は神様の最高・最善・最大の愛として受け取らせて頂く道を頂き、さらに、これから人が助かる上の道の布教に大きな信心の力を与えてくれたと悟らせて

頂くことができました》

と、一年祭の偲び草に思いが書いてありました。私自身、最高・最善・最大のおかげと、頂いたわけではございませんが、このことをどのように受け止めていけばよいか、道をつけて頂いたように思います。

私たちは、いろんな問題や難儀が起こってくると、その問題や難儀に囚われてしまい、目先のことばかりに心がいつて、その先の神様の申し召しというものを解らずにいることがあります。

神徳賛詞の中に「神量らいは奇しくて人の思いぞ及ばざる」とありますように、神様のお量らいは、私たち人間では解らないことだらけだと思います。

教祖様の御教えに「自分の思う通りを聞いて下さるのがおかげとは限らない。死んでおかげのものもあり、命をつないでもらっておかげのものもある。全てこの世の事は天地金乃神様の御支配であるから神に任すより他はない。信心していればその時は都合が悪いようでも、神の仰せに背かないでいると後になってから、

あれもおかげであった、これもおかげであったということが分かってくる」とご理解下されてあります。

神様の御領分のところは、神様にお任せし、人間の領分のところはしっかりと取り組ませて頂かなければならないと思います。

三遊亭歌之助という方の話ですが、歌之助さんが断家の真打ちになった時に一緒に林家正蔵さんも真打ちになられ、有名なので、マスコミの方がたくさん来られたそうです。

しかし、自分のところには誰も来ないといひがんでいたら、ある方より、ウサギとカメの話がされたそうです。皆さんもご存じの話ですが、その方は「実はカメは、相手は誰で

もよかったんです。いや、勝ち負けはどうでもよかった。目的に向かって進んでいくことが大事である」というような話をされたそうです。

競争に勝てばそれでいいということではない、信心も、ただ目先のおかげを頂けばそれでいいというものではなく、その問題を通して、一層信心を進ませて頂かなければと思います。

金光教なんきゅう支援隊

「移動図書館おあしす」 御用奉仕者 募集！

12月23日（土）木山仮設団地にての奉仕作業



※写真はフェイスブック「移動図書館おあしす」より

3月には金光図書館からも応援に

昨年12月は2名の方が演奏奉仕を

中学生の奉仕者も

典楽演奏することも

かんたん健康相談も

*いろいろな御用があります、お話を聞いて一緒にお茶を飲むだけでも…。よりそってあげる気持ちが大切なのです。

12/23の予定は、8:00AM鹿児島教会→8:40加治木教会→9:10吉松PA→9:20えびのIC→木山仮設団地御用奉仕後、現地を15:00頃出発して帰る予定です。7人乗りのワゴン車を2台準備する予定です。

昼食・旅費等の経費は、連合会で負担いたします。作業しやすい服装でご参加ください。

参加を希望される方は、12月18日までに矢野 章へ(加治木教会 ☎0995-62-2895)電話でお申し込みください。

金光教鹿児島地方教会連合会

※12月は、木山仮設団地で 2日・8日・15日・23日に、西原村小森団地では 5日・19日に開設されますので、23日以外に自主的に経費自弁で奉仕されてもけっこうです。

津上繁子先生ご帰幽

東郷教会 津上繁子先生が、十一月十九日満九十四才で、ご帰幽になられ、二十四日告別式が仕えられました。

(津上繁子先生：加治木教会長 矢野章先生実母)



有 園 彰 子 さん 孫 代 表 で 弔 辞 を

あしあと

加治木教会行事記録

11月

- 1 (水) ●月例祭(報徳) 10時半
- 5 (日) 西鹿兒島教120年記念大祭 12時
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭(天神様) 併せて 月例重祭 10時半
- 11 (土) 大口教会 御大祭 12時
- 12 (日) 東郷教会90年記念大祭 11時
- " 鹿兒島教会 御大祭11時
- 19 (日) 志布志教会90年記念大祭11時
- " 東郷教会 津上繁子姫ご帰幽
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭(天照) 共励会10時半
- 併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
- 23 (木) 東郷教会 津上繁子姫 終祭
- 24 (金) 東郷教会 津上繁子姫 告別式
- 26 (日) 少年少女会 10時半
- (秋の喜びで、お祈り)
- 30 (木) 清掃御用 10時

ご霊神様のおまじり

十二月

- 吉屋正憲 之霊神(2日) 平成11年
- 本中野キン 之霊神(7日) 昭和10年
- 大山キク 之霊神(7日) 平成7年
- 小屋敷シゲ 之霊神(7日) 平成8年
- 柳園市次郎 之霊神(8日) 昭和25年
- 本中野重盛 之霊神(8日) 昭和39年
- 大山叶人之霊神(14日)
- 徳永盛常 之霊神(18日) 平成2年
- 大山スエケサ之霊神(24日) 昭和51年
- 大山きよ子 之霊神(28日) 昭和43年
- 吉屋キミ 之霊神(30日) 平成22年
- 前田キミ之霊神 昭和43年



「先祖のご霊神様の、現世、幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

十二月四日(月) 出発 午前七時半

甘木親教会

生神金光大神御大祭 参拝

十二月二十二日(金) 十六時より

少年少女会・信徒会

歳末感謝パーティー

会費 400円

※行事が多く続いており、翌日も熊本地震復興支援活動が実施されるため。

十二月二十三日(土・祝) 八時半出発

教区南九支援隊・連合会 主催

熊本地震仮設住宅団地にて

「移動図書館おあしす」

御用奉仕

鹿児島地方教会連合会が、今月の当番で旅費・昼食の経費等は連合会で全額負担されます。御用内容は、本の貸し出し手続き、お茶出し・場内準備片付け、お茶のみ会話・健康相談など。

十二月三十日(土) 十三時半より

加治木教会

越年祭 奉行

越年祭、御礼・お願いの記入用紙を、ご記入の上、御結界にお届け下さい。

一月一日(祝) 正午より

加治木教会

元日祭 奉行

「祭典・教話後、福引。」

教会行事

12月

1 (金) ●報徳月例祭 10時半

2 (土) 3 (日) 信徒部 教区委員会

3 (日) ●甘木親教会御大祭 第一日

4 (月) ●甘木親教会御大祭 第二日

9 (土) 清掃御用 10時

10 (日) ●生神金光大神様 月例祭 10時半

御本部布教功労者報徳祭 (参拝は未定)

13 (日) 津上繁子姫之霊神30日祭 東郷教会

14 (火) 連布教協議会 10時半

21 (木) 清掃御用 10時

22 (金) ●月例祭・共励会 13時半

23 (土) 仮設住宅団地ポランティア「移動図書館おあしす」御用奉仕

29 (金) 清掃御用 10時

30 (土) ●越年祭 13時半

加治木教会バンド練習会

日時は、随時連絡します。

熊本地震復興支援活動の「移動図書館おあしす」が開かれるとき、演奏奉仕のおかけを蒙らせていただきますように、被災地のみなさんの心を癒す演奏です！

1月

1 (祝) ●元日祭 正午

3 (水) 甘木親教会年頭参拝

7 (日) 濱口家 霊祭

8 (祝) ★少年少女会「鏡開き」10時半

9 (火) 清掃御用 10時

10 (水) ●月例祭 (生神金光大神様) 10時半

併せて 成人感謝祭

17 (水) 津上繁子姫之霊神50日祭 東郷教会

21 (日) 清掃御用 10時

22 (月) ●月例祭・共励会 13時半

28 (日) 連合会定期総会 (鹿児島教会にて) 10時

31 (水) 清掃御用 10時

寒中一斉信行

一月十一日～二月二日
ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時